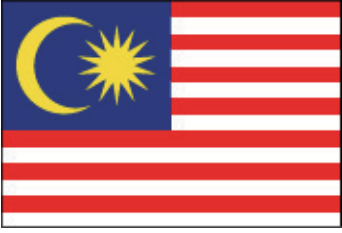


| マレーシア | | | |
|---|------------------------------|--|---|
|  <p>14本の赤と白の横線は国を構成する13の州と連邦政府を示している。左上の青地は人々の結束を象徴し、黄色の三日月は国教であるイスラム教を表し、14の光のある星は、13の州と連邦政府の結束を象徴している。</p> <p>独立：1957/8/31 国連加盟：1957/9/17 政体：立憲君主連邦制</p> | 国の概要 | 首都 | クアラ・ Lumpur |
| | | 国土 | 面積 33万km ² (日本の約90%) マレー半島のボルネオ島北西部のサラワク、サバ州からなる連邦国家で、半島部は中央を南北に走る山脈と沿岸平野からなる。サラワク、サバ両州は標高1,000m程度の山岳で覆われ、沿岸平野は狭い。 |
| | | 人口 | 2,717万人 (2007年) |
| | | 言語 | マレー語 (公用語)、英語 |
| | | 通貨 | リンギ (RM) |
| | | 気候 | マレー半島は高温多湿の熱帯モンスーン気候で、北東モンスーンの吹く10~2月に多量の雨が降り、特にマレー半島も東海岸に多い。南西モンスーンの吹く6月~9月は比較的雨量は少なくなる。ボルネオ島は熱帯雨林気候で、降雨も短期間のうちに豪雨となって降るスコールの形である。 |
| | | 民族 | マレー系+先住民 65.1%、中国系 26%、インド系 7.7% |
| 宗教 | イスラム教、仏教、道教、ヒンズー教、シーク教、キリスト教 | | |
| 教育制度の概要 | 学校体系 | <ul style="list-style-type: none"> ・プレスクール (4歳から)、初等教育6年、下級中等学校3年、上級中等学校2年、大学予備課程2年、大学3年である。 ・初等学校は教育語の違いによって、国立小学校、国立中国語小学校、国立タミール語小学校に分けられる。 ・中等学校は、国立中学校、中等技術学校、国立寄宿学校に分けられる。 | |
| | 義務教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・中等教育までは無料で、初等教育の就学率はほぼ100%となっている。 ・義務教育期間は6歳から12歳までの6年間である。 | |
| | 日本と比較した教育課程上の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・公立の中学校では、授業は月曜日~金曜日の午前7:30~午後2:15までで、1~3年生は8科目、4~5年生は9科目を履修する。4年生では、基礎科学や社会科学などの選択科目があり、生徒の希望と成績によってクラス分けが行われる。 ・国の3つの主要民族集団の3種類の教育語のマレー語、中国語、およびタミール語を1つの学内に共存させる「構想初 | |

| | | |
|-----------------------|-------------|--|
| | | <p>等学校」があり、3 集団それぞれの運営者および教員によって管理されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレー系以外の子どもがマレー語を 1 年間学習する制度である「移行学級制度」がある。 ・イスラム教徒が多いので、イスラム教徒の生徒を対象にイスラム研究という科目が取り入れられている。 |
| | 義務教育後の教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・中等学校後の 2 年課程のシックスフォーム、大学準備課程、カレッジ、さらにポリテクニク、大学、大学院に進学する。 |
| | 就学前教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・4 歳からのプレスクールがある。 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育行政は、連邦政府→州教育庁→地方教育事務所→学校という強力な縦割り構造になっており、教育に関する組織、運営、開発等はすべて教育省の管理下にある。 ・教育に関する企画立案及び意思決定は、教育企画委員会により行われる。 ・全寮制中等学校が、全国に 40 校以上あり、小学校 6 年生時に学力到達度を測る全国統一試験の結果をもとに教育省によって選抜される。 |
| 学 校 生 活 | 休業期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・3 月上旬に 9 日間、5 月下旬／6 月上旬に 16 日間、8 月中旬に 9 日間、11 月中旬から 50 日間の年 4 回ある。 |
| | 飛び級、落第の有無 | <ul style="list-style-type: none"> ・落第は、基本的にはない。 |
| | 子どもの一日 | <ul style="list-style-type: none"> ・公立中学校の中には、全寮制で、寮で寝食を共にしているので、放課後の大部分は補習授業や復習、宿題などの勉強に費やしている。 |
| 生 活 習 慣 等 | 言葉の指導面の留意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかない、「ウ」と「オ」を混同してしまう、「アイ」を「エー」と発音することがある。 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンケン「オソム」といい、日本と同じように石（パトゥ）、はさみ（グンティン）、紙（クルタス）で勝負する。石ははさみに勝ち、はさみは紙に勝って、紙は石に勝つ。 |

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・マレーシアの教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・CLAIR
- ・教育事情・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・海外職業訓練協会

- ・おもしろジャンケン・・・・・・・・・・・・・・・・・・日本アセアンセンター
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・井上恵子